

2年生の数学に繋げよう！

～『1章 式の計算』を学習する前に～

はじめに…

2年生の数学は、1年生の数学で学んだことを基盤にして、1段階パワーアップしていきます。このプリントでは2年生の数学に向けて、特に繋がり深いポイントをまとめました。各学年の教科書を読みながら、確認していきましょう！

○「1節 式の計算」

1 単項式と多項式（2年：P10、11）

<1年生で学んだこと>

- ① 項（1年：P25）
- ② 累乗（1年：P35、58）

① 項

加法の式で、足し算の記号+に挟まれている数字や文字のこと。

例、 $-4+5-6+7$ という式は、

$$-4+5-6+7 = (-4) + (+5) + (-6) + (+7)$$

と考えられるので、

項は -4 、 $+5$ 、 -6 、 $+7$ （+の符号は省略可）

元の式を、 $-4 / +5 / -6 / +7$ のようにして、

“符号の左側で区切ったパーツが項”と考えてもOK！

【演習問題】 次の式の項をすべて答えなさい。

(1) $-6+2-7$

(2) $2-3-6$

② 累乗

同じ数や文字をいくつかけたもののこと。

かけられている文字や数字の個数を、指数（右かたに小さく書いた数字）で示す。

例、 $3^2 = 3 \times 3 = 9$ ←3を2個かけている

$a^3 = a \times a \times a$ ← a を3個かけている

※ ここに注意！

・ $3^2 \neq 3 \times 2$

累乗とかけ算をごっちゃにしてしまう人が多い！気を付けて！

・ $(-3)^2 = (-3) \times (-3) = 9$

$-3^2 = -(3 \times 3) = -9$

何が2乗されているのか、違いに注目！

【演習問題】 次の問いに答えなさい。

(1) 次の積を、累乗の指数を使って表しなさい。

① $7 \times 7 \times 7 \times 7$

② $(-4) \times (-4)$

③ $(-0.3) \times (-0.3)$

④ $\frac{1}{2} \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{2}$

(2) 次の式を、文字式の表し方にしたがって表しなさい。

① $b \times b \times b$

② $x \times x \times 3$

③ $x \times y \times y$

④ $a \times b \times a \times a \times b$

☆ 2年生ではどうなる？

いろいろな文字式を、項の数やかけられている文字の個数で分類します。

項が1つだけの式を**単項式**、項が2つ以上ある式を**多項式**といい、単項式でかけられている文字の個数をその式の**次数**といいます（多項式の場合はその式の中で一番次数が大きい項の次数がその式の次数になります）。